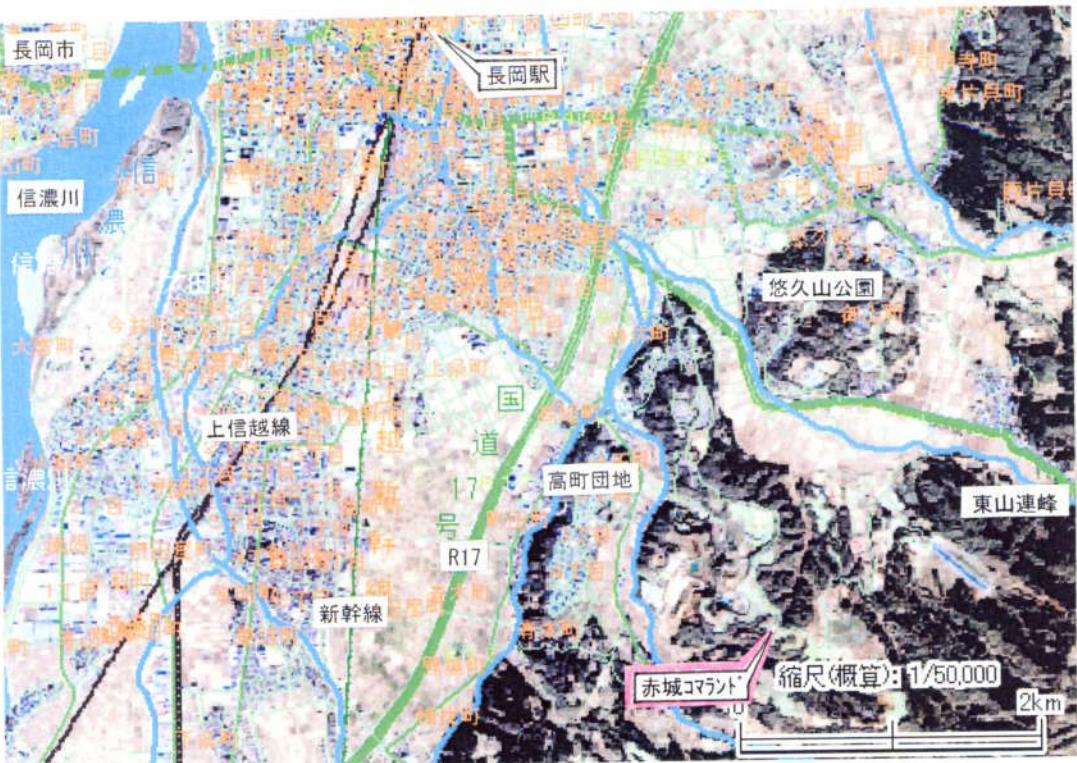


ロマンと冒険の森
赤城コマラント



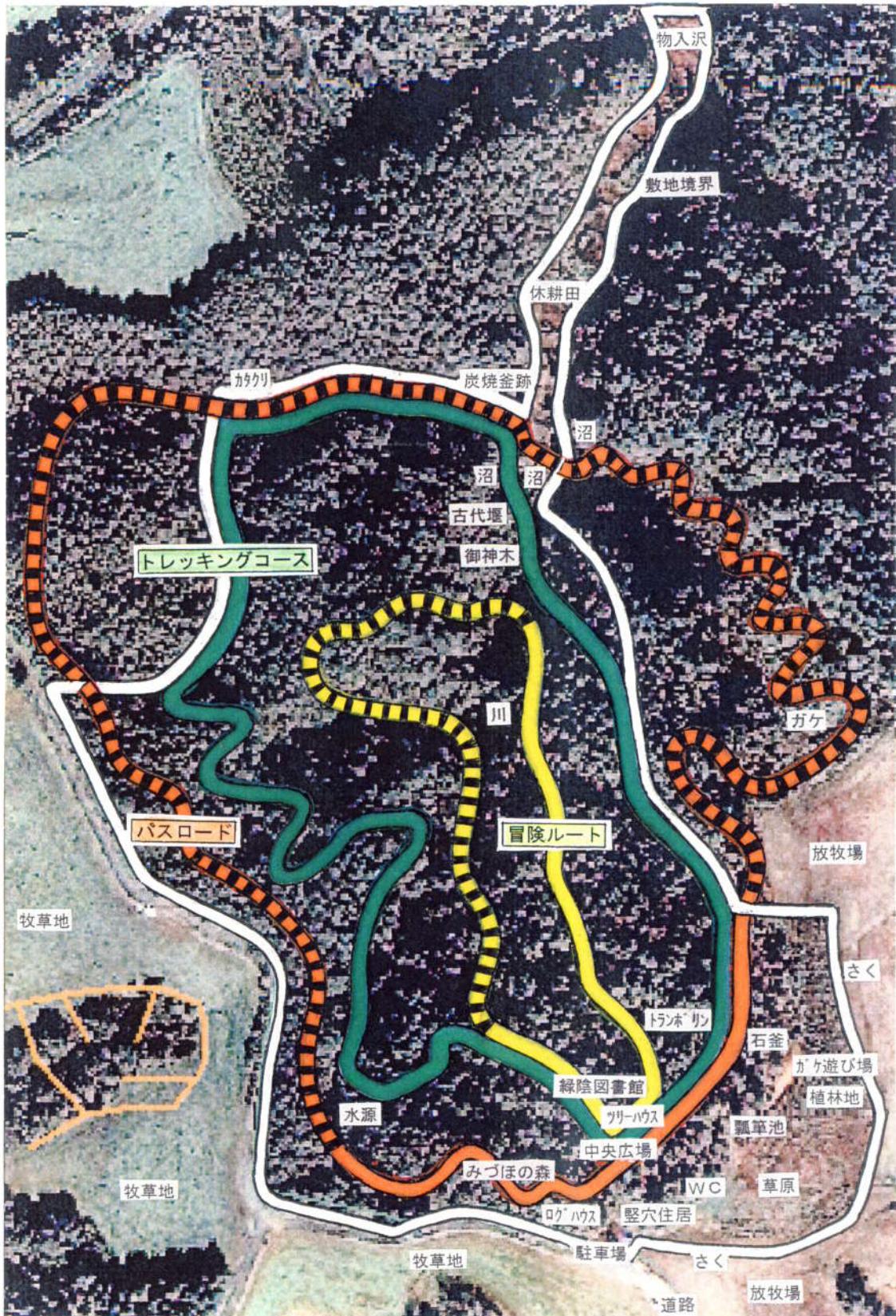
四郎丸地区教育環境づくりの会



長岡駅から直線5Km、都市近郊の里山に立地。



周囲を自然公園に取り囲まれたロケーション。



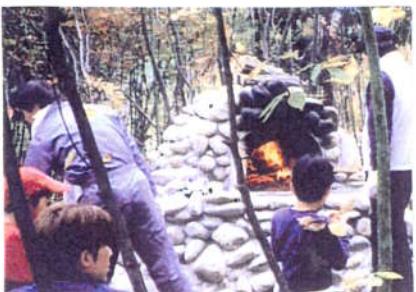
三万坪の自由の天地で、貴方はどんな夢を追う？

春



夏

秋



冬

赤城コマランドは私有地ですが、地主さんの厚意で一般開放しています。
ここで子ども達に等身大の、危ない遊びや
秘密の冒険や、ちょっぴり悪い体験なんかもさせて
もっとのびのび育てようと『冒険遊び場』を作っています。
でも現代の里山は荒廃していて、人が立ち入る事もできません。
そこで里山の再生運動も同時に進めています。
みんなで楽しく遊んでいたら、いつの間にか森も人も豊かに育っていた…
という、肩の力をぬいた活動をめざしています。

赤城コマランドは、いつでも、誰でも、断りなしに、無料で使えます。
『ロマンと冒険の森づくり』のテーマに沿う限り、何をやっても自由です。
ここには指示も、義務も、禁止もありません。
この森で何を為すべきか…自ら考え、決め、行動し
最後まで自分の責任を果たしましょう。
他に責任を求める人はここでは遊べません。

赤城コマランドは行政とは仲良くしますが頼りません。私たちは
社会に要求するのではなく、世の中の為に何ができるのかを
いつも探しています。清貧な市民力が私たちのポリシーです。
ここにある施設はみんなで資金を調達して、手作りで建てたものです。
自由に使って楽しく遊びましょう。そして大自然の中で五感を研ぎ澄まして、
森や、獣たちや、子ども達や、あなた自身の心の聲に耳を傾けましょう。

赤城コマランドは、所有者の駒村さんと鎮守の神社から名前を戴きました。
最初は三千坪でしたが、次第に周囲の地主さんや長岡市の協力を得て
今では、無償で二十区画・三万坪をお借りしています。
この四年間に植えた木々は四千八百本に達し、
ロマンと冒険の森は着実に進化を遂げながら、その千年の志操を少しづつ
悩める現代社会に広げ始めています。

赤城コマランドの組織は大雑把です。三役の他に
助つ人のマタギ衆が70名、ここで遊ぶコマランダーは約1500名います。
会費はもらいません。自ら任命するマタギ衆は「来てくれれば感謝、
来なくても苦情は出ません」を合い言葉に、気楽にやっています。
休日には大抵何かしていますから
前から居たような顔をして混ざって頂ければ、今日から貴方も
心ある仲間のひとりです。よろしければ今度一緒にやりませんか。



上の写真は
2004年6月に撮影した
手つかずのコマランドの森です。
そのあと半年かけて
やぶを払い、枯れ木を倒し、
混み過ぎるところは伐り
足りないところは苗木を植えて、
こんなに
気持ちのよい森になりました。
下の写真は2004年11月に
同じ場所で写した
パスロード入り口です。
三万坪のフィールドに、
車椅子も往く散歩道を造ろうと
計画しています。
森が持つ不思議な力を
五感で受け止めるために
私たちは森の奥深くをめざします。
人と森とが親しむことで
瀕死の里山も、
そこに棲む生き物たちも、
そして私たちの未来も
きっと変わると信じています。



いちばん上の写真といちばん下の写真は同じ場所で撮影したものです。

新潟県中越大震災発生

2004. 10. 23

コマランド周辺部の被災状況



突き出したマンホール



倒れそうな家



コマランドの麓は甚大な被害



斎場の煙突も折れた



テニスコートも崩れ落ちた



いたる所で土砂崩れ



かけはしの森周辺



展望台は何とか踏みとどまる



コマランドへの道は封鎖

激震に見舞われた赤城コマランド



ツリーハウスは無傷



子ども達の物置が倒壊



豊穴住居はボロボロ



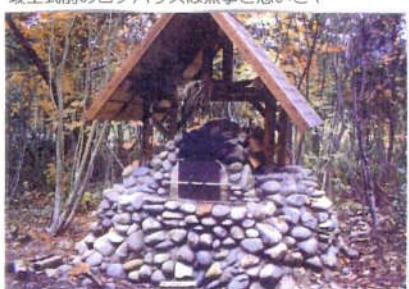
二重構造のトイレは中で傾く



竣工式前のログハウスは無事と思いきや



基礎からちゃんと降りていた



さすがに石釜は重い



はね飛ばされたベンチ



植林地に無数の亀裂が走る



牧場にヘリコプターが飛来



山古志の闘牛救出大作戦



800キロの巨体で座り込み

復興の槌音たかく

2004.11.21



基礎から落ちてフニャフニヤ



15ton油圧ジャッキ6台で家ごと浮かせる大工事



不法投棄物処理作業



調理器具を日光消毒して収納



扉もついて完成間近

第8回赤城コマランド復興植樹会

2004.11.28



小雨の中を続々と集合



稚児のおみこぐ撒き



元気に育てよ



あったかいキノコ汁



バウムクーヘンを焼くぞ



ピザのトッピング



トランボリン乗り過ぎ！



ブランコも乗り過ぎ！



閉会式。また来てね。

すっかり元気！冬の縄文体験 PART. II

2005. 2. 20



ワラを運んで

地震で痛んだ竪穴住居を修理

わっ ウサギだ…



おおつと、こつちはタヌキだ！



みんな食つちまつた。



県立歴史博物館学芸員の解説



雪のコマランドもいいね！

赤城コマランドの軌跡

2000. 1. 1 設立	10. 26 全国育樹祭（愛知県）理事長賞受賞
5. 7 探索会	11. 1 石釜完成
11. 3 植林開始	11. 2 バリアフリーロード・トイレ完成
12. 17 再探索会	11. 3 第6回植樹会(350名)
2001. 4. 28 第1回植樹会(73名)	11. 8 文部科学省、先進地事例に紹介
6. 8 灌溉池を掘削	12. 23 不法投棄物撤去作業No. 4
6. 21 間伐・下草刈り開始	2004. 1. 4 炭焼き釜の跡を発見
10. 8 不法投棄物撤去作業No. 1	1. 21 周辺市有地 4. 7haの無償貸与実現
11. 23 トレッキングコース開通	4. 17 不法投棄物撤去作業No. 5
11. 24 第2回植樹会(110名)	4. 26 ニッセイ財団広がれ元気つ子活動助成金
2002. 4. 28 第3回植樹会(240名)	4. 29 第7回植樹会（県共催 736名）
5. 9 四郎丸小・総合学習開始	5. 20 ソロプチミスト長岡みづほ10周年記念助成金
8. 23 緑の少年団交流会(240名)	7. 10 カkehはしの森づくり育樹会（県共催 100名）
8. 27 埋立地クローバー緑化	7. 13 新潟県中越豪雨発生
10. 5 緑の学校事業助成金	7. 14 県職員互助会特別公益事業助成金
10. 15 ニュー新潟ふるさと応援事業助成金	8. 10 夏の縄文体験2泊3日inコマランド（80名）
10. 27 不法投棄物撤去作業No. 2	8. 13 ログハウス建設工事開始
11. 4 ツリーハウス完成	10. 7 新潟県ふるさとづくり大賞受賞
11. 24 第4回植樹会(263名)	10. 15 さわやか子ども教室助成金
2003. 3. 30 不法投棄物撤去作業No. 3	10. 23 新潟県中越地震発生
4. 29 第5回植樹会（県共催 700名）	11. 14 車椅子用トイレ災害復旧工事
5. 16 緑の募金森づくり事業助成金	11. 21 ログハウス災害復旧工事
6. 6 周辺民有地 4. 93haの無償貸与実現	11. 23 不法投棄物撤去作業No. 6
6. 9 緑の百年物語支援事業助成金	11. 28 第8回植樹会(150名)
7. 12 不法投棄予防の市道沿線自主整備開始	12. 12 コマランド御神木の大しめ縄づくり
8. 5 子供の活力を育む集団助成金	2005. 1. 23 もちつき＆郷土大判カルタ取り大会
8. 6 長岡地域森林吸収源対策推進会議参加	2. 15 長岡長生ライオンズクラブ復興助成金
8. 30 市長と火星探索会(60名宿泊)	2. 20 冬の縄文体験inコマランド（80名）
10. 11 グリーンフェスティバル（県共催 370名）	3. 15 にいがた緑の百年物語総会で事例発表

親 父／駒村精吾 世話役／山川成雄 勘定役／小林 守 事務方／田村 昭
事務局／〒940-0046新潟県長岡市四郎丸1-2-25・長岡市立四郎丸小学校
TEL0258-32-0055FAX0258-32-0083 www.kome100.ne.jp/shiromaru-es/
協 力／四郎丸地区教育環境づくりの会・四郎丸コミュニティセンター・四郎
丸小学校PTA・にいがた緑の百年物語緑化推進委員会・新潟県・長
岡市・カkehはしの森づくり実行委員会・長岡市緑地環境協同組合・二
ユ一新潟振興機構・国土緑化推進機構・文部科学省・あしたの新潟県
を創る運動協会・あしたの日本を創る協会・ニッセイ財団・ソロプチ
ミスト長岡みづほ・新潟県職員互助会・さわやか福祉財団・長岡長生
ライオンズクラブ・新潟県立歴史博物館・長岡造形大学・安部 忠・
今井 薫・今井藤男・熊倉 久・駒村精之輔・土田豊一・大塚鉄物他
ご質問／世話役・山川成雄 TEL0258-33-1763 FAX33-1763 携帯 090-3215-8256
ご意見／ホームページ【こまむら】<http://www.nct9.ne.jp/koma/>「狸の遠吠え」

2005. 3. 3

※表紙は可哀相な捨てウサギのシロちゃんです。地震の後、コマランドにいました。誰からもって！